



青少年奉仕委員会だより

2018年8月1日号

編集者 稲本修一

インターアクター 台湾で親睦と友情の交流

台湾第 3482 地区とのインター
アクト親善交流
会が7月 25 日



からの3日間、台北市内で行われ、水戸女子高等学校、茨城キリスト教学園高等学校、水城高等学校の3高校から12名のアクターが参加しました。12名のアクター達は、台北市内の現地アクターと異文化交流と国際親善、友情交換でゆるぎない親交を深め、大輪の花を咲かせて帰国しました。



水戸女子高等学校談



始めは不安でしたが数多く交流できて台湾文化を知ることができて良かったです。

全身全霊で台湾を知ることができました。

茨城キリスト教学園高等学校談

英語が不安でしたがはじめてのアジアに感動すると共に台湾の歴史を知ってよかった。



台湾の高校生はフレンドリーでした。

水城高等学校談

勉強したことと体験したこととは全然違っていたが、本当の姿に触れられてよかった。台湾の高校生は積極的で我々も見習いたい。



青少年奉仕研究会開催さる



7月15日、青少年奉仕研究会が水戸のホテルで開催されました。挨拶に立った高橋賢吾ガバナーは「インターアクト、ローターアクトや他団体と手を取り合い一緒に奉仕活動をしたら世界で

大きな影響を及ぼす。これが青少年の育成やロータリーファミリーにもつながる。それには学友会の設立が大切」と述べたうえでローターアクトの増強が必要と強調しました。

「再構築」が今年度 RAC ターゲット



ローターアクトの第1回会長・幹事会が7月29日真

壁で開かれ、7ローターアクトクラブの関係者が参加しました。

席上、挨拶にたった池田遼太・地区ローターアクト代表は「今年の地区ターゲットは再構築。また会員増強とローターアクトの名簿作りも急務。ロータリーファミリーディーにはロータリーアンとも協力したい」と抱負を述べました。